


# GUILTY GEAR XX Accent Core

【ぎるていぎあいくぜくすあくせんとこあ】

ジャンル	対戦格闘ゲーム	
対応機種	プレイステーション2	
発売・開発元	アークシステムワークス	
発売日	2007年5月31日	
価格	5,040円（税込）	
分類	<b>劣化移植</b>	
ポイント	劣化移植・バグ・手抜き・サポートの悪さ	
注意	ここでは同タイトルのWii版の紹介は省略する	
<a href="#"><b>ギルティギアシリーズリンク</b></a>		

## ▶ [GUILTY GEAR XX Accent Core](#)

- ▶ [概要](#)
- ▶ [バグ](#)
- ▶ [手抜き](#)
- ▶ [劣化](#)
- ▶ [サポートの悪さ](#)
- ▶ [擁護意見](#)

## ▶ [GUILTY GEAR XX Accent Core PLUS](#)

- ▶ [新バージョン](#)

## 概要

パッケージで完全移植を謳いながらの大幅な仕様変更になり、バグ・手抜き・ダメサポートという劣化移植の見本市状態で、公式ブログ大炎上という事態に発展。  
通称「バグセントコア」。

## バグ

- ▶ 特定の技が出ないバグ、特定の技を特殊ヒットさせた際にダメージが跳ね上がるバグなど対戦に影響のあるバグ満載。
- ▶ フリーズバグももちろん実装。しかもそれほど難しい条件ではない。
- ▶ セーブデータバグも存在。
  - ▶ ただしこれについては発生数が多くなく、条件も全く不明で再現も出来ないため本当にあるのかどうかは不明。これの前々々作には存在していたのでそれがまだ残っている可能性もある。
- ▶ その他細かいバグも無数に存在していたが、アーク社はその一部しか認めず、攻略本では「PS2版の仕様です」と言い張る不誠実さ。
  - ▶ 何れにする「アーケード版からの完全移植」「違和感無く遊べます」という謳い文句から程遠い出来であり、後述の修正版発売後もこういった態度が変わることは無かった。
- ▶ 更に海外版やWii版ではこれらのバグがほとんど修正されており、国内版のデバッグ・調整の不足ぶりが露になった。

## 手抜き

- ▶ ゲーム中の一部の表記が『GUILTY GEAR XX /』（前作タイトル）になっている。明らかなソースコードの使い直し。
  - ▶ 上記のバグの中にはプログラムソースを流用したために発生したと思わしきものがいくつも存在している。アーケードからの完全移植ではなかったのか？
- ▶ アーケード版で散々指摘されていた誤植もそのまま。
- ▶ 前作までのCS版で毎回必ず存在していた隠しキャラ2名こと「クリフ・アンダーソン」「ジャスティス」が削除されている。今作ACで仕様が変わった部分があるため、その部分の修正の手間を嫌ったと思われる。
- ▶ また、前作のCS版と比べて明らかに遊べる要素が減っている。主に削除されているのは毎回お題の変わるミッションモード。

## 劣化

- ▶ 音質が明らかに劣化しており、籠って聞こえる。
- ▶ 上記の数々のバグの存在により、アーケードと同様の練習が出来なかったり、基本の戦略自体が使いなくなったキャラが数キャラ居る。

## サポートの悪さ

- ▶ バグ・手抜きが発覚し騒動となった後に一応の謝罪文が発表されたが、一部のバグしか認めない上、謝罪文と銘打っておきながら謝罪の言葉は無く、購入者への呼びかけは「なにとぞご理解ください」という一文のみ。
  - ▶ この内容でファンの怒りが収まる訳もなく、逆に騒動を煽る結果に。
- ▶ もちろん修正版との交換などのサポートも一切無し。
- ▶ 当然のごとく公式ブログは大炎上したが**アークシステムワークスは完全無視**を決め込み、それどころか『**他のユーザーの方からの苦情が来たので**』という理由で**コメントを承認制**にした上に、最終的にブログ自体も消してしまっている。
  - ▶ この騒動の最中に『GG2』の製作発表を行ったが、本作へのサポートも疎かなままの新作発表に「無神経だ」といった更なる批判が起こった。

## 擁護意見

- ▶ ただし、当時本作が公式種目に選ばれていた闘劇の開催までに間に合わせる為なのか、今までの作品と比べて「AC 家庭用への移植」の期間が短かった割に、大幅な仕様の変更が行われた作品であった事と、主要スタッフが『GG2』や『**ブレイブルー**』といった新作タイトルに移ってしまった可能性のある時期だったため、「人手や時間が足りなかったのでは？」という意見もある。
- ▶ また、開発陣は騒動に対してまともな対応をしたかったが、上層部が黙殺を決め込んだために出来なかったという話もある。
- ▶ (擁護ではないが、)上記問題点だけでなく、度重なる**バージョンアップ商法**でファンからの不満が溜まっていたタイミングでこのような未完成品をお値段高め(\*1)で発売した事もこの騒動が発生した大きな要因だろう。

## GUILTY GEAR XX Accent Core PLUS

【ぎるていぎあいくぜくすあくせんとこあぶらす】

ジャンル	対戦格闘ゲーム		
対応機種	プレイステーション2		
発売・開発元	アークシステムワークス		
発売日	2008年3月27日		
価格	通常版:6,090円 アペンド版:2,079円(共に税込)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
分類	<b>改善されたゲーム</b>	通常版	アペンド版
ポイント	劣化部分大幅改善+新要素 アペンド版は前バージョンの修正ディスクに該当		
注意	ここでは同タイトルのPSP版の紹介は省略する		
<b><u><a href="#">ギルティギアシリーズリンク</a></u></b>			

## 新バージョン

- ▶ その後、修正版である『ギルティギアXXAC+』を発売。
  - ▶ 追加ディスクに約2000円発売という事もあり「修正版で金を取るのか?」という不満もあったが、バグのほとんどを修正し、隠しキャラ・ミッションモードを復活させ、さらに新しくストーリーモードや新システムのサバイバルモード等を盛り込んでいる。
  - ▶ こちらは十分ファンも満足の出来である。そのため一応騒動は収まった。
- ▶ 2012年夏にPS3のPlayStation Storeと、Xbox360のLiveArceadeでダウンロード販売される事が決まった。オンライン対戦にも対応予定。